

理工系人材育成に関する産学官行動計画の ベストプラクティス

2017年5月22日

一般社団法人 日本経済団体連合会
副会長／未来産業・技術委員長
トヨタ自動車株式会社 代表取締役会長
内山田 竹志

本日の内容

○ Society 5.0の実現と理工系人材

○ ベストプラクティスの紹介

事例①「未来社会工学開発研究センター」設立

(トヨタ自動車、筑波大学)

事例②「東大・経団連ベンチャー協創会議」立上げ

(経団連、東京大学)

事例③「夏のリコチャレ2016」開催

(経団連、内閣府、文部科学省)

Society5.0の実現と理工系人材

- Society5.0の実現に向けて突破すべき5つの壁を提言（2017年2月）
- 「人材の壁」については、長期的な人材戦略の下、大型共同研究等を通じた人材育成等が重要



○ 人材の壁

- 長期的な人材戦略の実施。とりわけ、不足しているサイバーセキュリティ、データサイエンス等にかかる人材については、各省の様々な取り組みの横断的連携が必要
- イノベーション創出、競争力強化に資する高度人材の受け入れを促進
- 大型共同研究等を通じ、大学と産業界、ベンチャー企業との間において、優れた人材の活用と育成を進めることが重要

[参考] 行動計画とベストプラクティスの関係

行動計画

1. 産業界ニーズと高等教育のマッチング方策、専門教育の充実

(1) 産業界のニーズの実態に係る調査に基づく需給のマッチング

(2) 産業界が求める理工系人材のスキルの見える化、採用活動における当該スキルの有無の確認

(3) 産業界のニーズを踏まえたカリキュラムの提供

事例①
トヨタ・筑波大
研究センター

事例②
東大・経団連バン
パー協創会議

2. 産業界における博士人材の活躍の促進方策

(省略)

(1) 実験や科学的な体験などを通じた理工系科目に対する学習意欲・関心の向上

(2) キャリアパスの見える化等を通じた職業・進路への興味・関心の喚起

事例③
夏のリコチャレ
2016

3. 理工系人材の裾野拡大、初等中等教育の充実

人材需給WG取りまとめ

人材需給マッチングを促進するための仕組みの構築

社会ニーズに対応する教育環境の整備

優先すべき取り組み

- ・成長を支える数理・情報技術分野や中長期的に成長が期待される新たな分野等について、大学等における実践的な教育への参画を促進
- ・大学と個別企業による人材育成を含めた大規模な共同研究

大学等における社会人の学び直しの促進

未来の産業創造・社会変革に対応した人材育成

※凡例

事例と対応する箇所

事例① 産学官連携による地域未来の社会基盤づくり

- トヨタ自動車と筑波大は、学内の多様な研究を生かした学際研究で地域未来の社会基盤づくりに取り組む研究センターを共同設立

(2017年4月6日プレスリリース)

未来社会工学開発研究センター

(センター長：高原勇 筑波大特命教授、トヨタ自動車未来開拓室担当部長)



(筑波大学 産学リエゾン共同研究センター棟)

- 企業、大学、地域住民と自治外が参画
- オープンラボ方式の組織対組織の本格的な産学官連携

<学内参画組織>

- ① システム情報工学研究科
- ② 人工知能科学センター
- ③ 体育系
- ④ サイバニクス研究センター
- ⑤ 国際統合睡眠医科学研究機構
- ⑥ ビジネスサイエンス系
- ⑦ 国際産学連携本部

事例① 産学官連携による地域未来の社会基盤づくり

- 「農業支援」、「保育支援」、「防災減災」など地域創生に資する政策提言と実学研究で社会実装を実現
- 地域のイノベーション拠点形成を促進する人材育成を実施

農業支援技術の充実



省力化ロボティクス、遠隔管理
スマート農機技術

子育て環境の充実

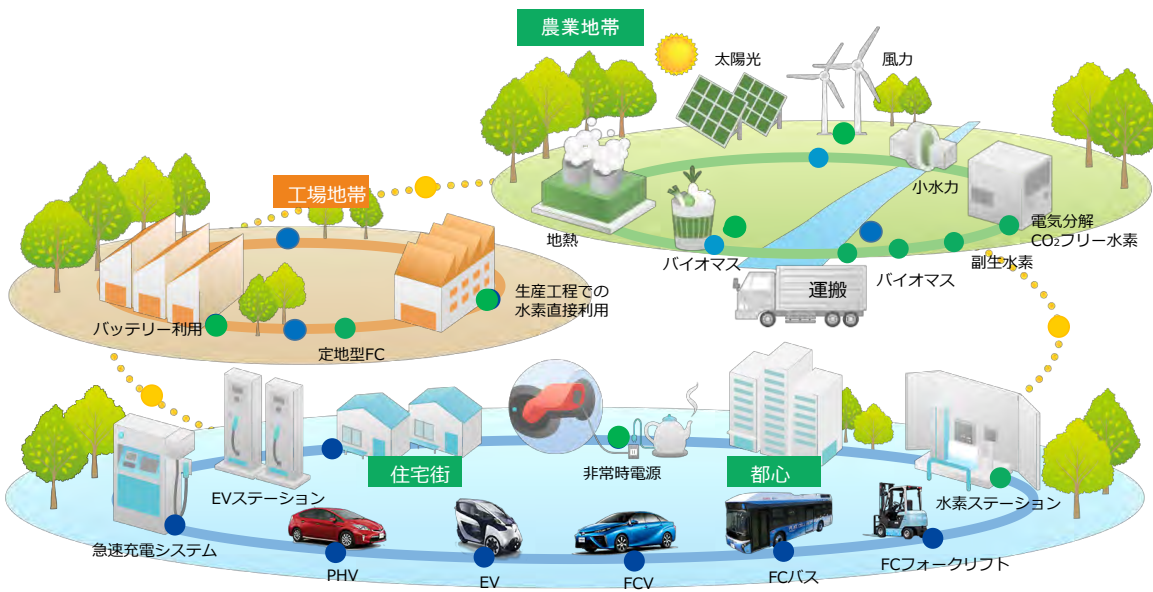


見守りロボット、自動運転送迎

防災・減災の拠点形成



IoT車両情報、移動分散電源
(燃料電池等)



地域未来創生教育講座

自動運転
と燃料電池による地域未来創生

モビリティ・ロボティクスによる地域未来創生

金融インフラ整備による地域未来創生

アクティブラーニング
プログラム



未来PJ

復興PJ

高大連携PJ

事例② 未来の産業・社会を創造する起業家人材育成

- 経団連と東大は、革新的な技術や社会システムを提供するベンチャーを創出・育成すべく、「東大・経団連ベンチャー協創会議」を立上げ
- 活動の一環として起業家人材の育成を実施
- 第一回総会開催（2016年11月16日）



（東大五神総長、経団連根岸企業・中堅企業活性化委員長ほか双方幹部出席）

○ 起業家人材の育成に向けた活動

東大の起業家人材育成プログラム等と連携し
事業化に必要なスキルに関する教育等

＜参考：第1弾の活動＞
新しい時代の地球観測インフラの
構築を目指した宇宙ベンチャーと連携



AXELSPACE

事例③ 女子学生を中心とする理工系人材裾野拡大

- 経団連と内閣府、文部科学省※は、「夏のリコチャレ2016」を実施
- イベント規模は大幅に拡大
- 理工系進学者増加につながるよう、政府の一層の取組みを期待

※2016年度より生涯学習政策局が参画



夏のリコチャレとは：夏休み期間を利用し、女子中高生を中心に、技術系職場の見学や技術者との対話等を通じて、理工系進学に関心持ってもらうためのイベント。2015年度より開始。今夏も「夏のリコチャレ2017～理工系のお仕事体感しよう！～」を開催予定。

【2015年度】	企業 35社／42件	学生 1,800名超
【2016年度】	企業 90社／144件	学生 12,000名超



清水建設



資生堂



JFEエンジニアリング



三菱重工業



旭化成グループ



キャタピラージャパン



野村證券



コニカミルタ

“リケジョ”の皆さんの様子が伝わった

育児と両立している女性の話がきけてよかった

かつて良く活躍する女性の研究者方を肌で感じ、自分もあなりたいと思ってくれたと思う（保護者）

＊ 女性技術者の育成支援：「トヨタ女性技術者育成基金」
トヨタグループ10社による基金で、奨学金給付・インターン・出前講義などを推進



Keidanren

Policy & Action